

科目名 Course Name	身体表現 I Physical Education for Young Children I			ナンバリング No.	G1-002		
年次	1 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	鈴木 愛勇						
連絡先(質問等)	授業中に指示する						
必修/選択	選択 (「2 級幼児体育指導者」「ジュニアスポーツ指導員」「スポーツプログラマー」)						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と 到達目標	<p>授業概要： 多くの時間を幼稚園や保育園で過ごす園児にとって、園生活の中に「運動遊び」を取り入れることは、体力向上につながる大きな要因となる。幼児の運動能力向上のためには「楽しく」「安全に」「より効果的」であることに着目しなければならない。また運動遊びの目的は体力向上に留まらず、社会性や協調性などを身に付けさせることにも期待される。この講義では、まず受講者自身が身体活動の楽しさを知り、園児に対してこれらの要素を実践できる、技能の習得を図る。</p> <p>到達目標： ①年少中長児ごとの運動発達を知り、その年齢に応じた適切な運動遊びの種目の理解や、運動レベルの設定ができるようにする。②自分を保育者または指導者の立場に置き換え、受講者が楽しいと思えるような授業を作り上げることができるようにする。③指導者として、園児に多種多様な運動遊び種目を提供するのみならず、自分自身が正確にその見本を示せることができるようにする。</p>						
授業の方法	実技指導、学生同士による模擬指導（指導者と園児役になる）、保育現場での運動遊び指導の事例報告						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	<p>①園児の加齢に伴う運動の発育発達に応じた、運動遊び指導のプログラムを構成することができる。</p> <p>②園児が安全に運動遊びを行えるような、環境整備をすることができる。</p> <p>③園児にからだを動かすことの楽しさを伝えることができる。</p> <p>④運動会行事を計画し実施する能力を身につけることができる。</p>					
	L04						
課題に対する フィードバック	授業の後半に見本を見せながら説明を行う。						
教科書/ 参考図書	参考図書：「幼児体育教本」(同文書院)、「0～5 歳児の運動あそび指導百科」(ひかりのくに)、「キンダーコーディネーション」(全国書籍出版)、「園児いきいき体育あそび200 選」(かもがわ出版)						
履修上の留意点 やルール等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアス等の装飾品は授業前にとること</li> <li>・授業にふさわしい服装でくること</li> <li>・体育館への食べ物と携帯電話の持ち込みは禁止</li> <li>・協調性ある態度でのぞむこと</li> <li>・事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする</li> <li>・幼児体育指導者検定試験を必ず受験すること</li> </ul>						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協調性をもって授業に臨む姿勢。</li> <li>・技能の習得に対して前向きな姿勢。</li> <li>・用具の準備</li> <li>・片付けなどに積極的に参加する。</li> </ul>	50			
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	マット（前転・後転・前転補助・後転補助、壁倒立）、跳び箱（開脚跳び）、竹馬		50		
その他					
<b>合計</b>		50	50		

回数	授業計画	
1	授業内容	ガイダンス（受講にあたっての服装や態度と注意点、授業内容の確認、成績評価方法）
	事前・事後学習	幼児遊びについて事前予習（インターネットなど）
2	授業内容	幼児の集団遊びと伝承遊び①（年齢別の遊具・器具を利用しない遊び）
	事前・事後学習	幼児遊びについて事前予習（インターネットなど）
3	授業内容	幼児の集団あそびと伝承遊び②（鬼遊び）
	事前・事後学習	2回目3回目の授業のまとめ（幼児遊び）
4	授業内容	マットを使った運動遊び指導①（マット遊び）
	事前・事後学習	マット運動遊びについての事前調べ
5	授業内容	マットを使った運動遊び指導②（前転、後転の指導プロセスとその補助法）
	事前・事後学習	補助方法の復習（イメージトレーニングなど）
6	授業内容	マットを使った運動遊び指導③（前転、後転、壁倒立、側転の指導法と前転補助法、後転補助法の技能習得）
	事前・事後学習	補助方法の復習（イメージトレーニングなど）
7	授業内容	跳び箱を使った運動遊び指導①（年齢に応じた跳び箱遊びの実際）
	事前・事後学習	授業中学習した内容の復習（安全面など）
8	授業内容	跳び箱を使った運動遊び指導②（開脚跳びの指導プロセスと補助法）
	事前・事後学習	補助方法の復習（イメージトレーニングなど）
9	授業内容	跳び箱を使った運動遊び指導③（開脚跳びの技能の習得）
	事前・事後学習	指導時の声掛け練習・暗記
10	授業内容	小さいボールを使った運動あそび指導（幼児の投げる動作の運動発達）
	事前・事後学習	幼児の投げる動作の観察（動画など）
11	授業内容	竹馬技能の習得①
	事前・事後学習	竹馬の歴史についての学習
12	授業内容	竹馬技能の習得②
	事前・事後学習	実技練習
13	授業内容	マット・跳び箱・竹馬遊びの復習と個人技能向上練習
	事前・事後学習	実技練習
14	授業内容	マット・跳び箱・竹馬遊びの技術説明とテスト
	事前・事後学習	補助法の練習
15	授業内容	マット・跳び箱・竹馬遊びのテスト（補助法）
	事前・事後学習	授業全体を通してのまとめ・反省